

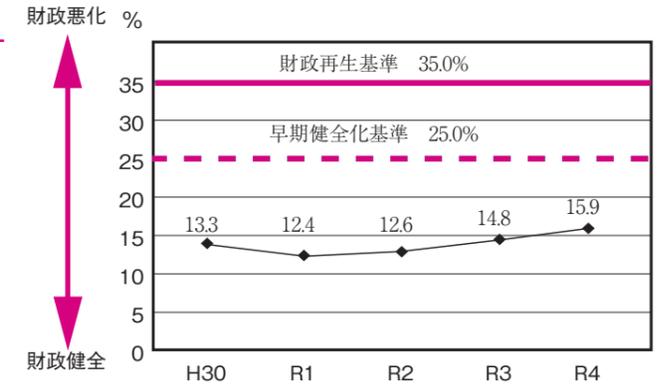
令和4年度の健全化判断比率等を公表します

令和4年度決算に基づく奥出雲町の健全化判断比率及び資金不足比率を公表します。これは、地方公共団体の「財政健全化度」を判断する指標で、一般会計のほか、特別会計や公営企業会計(病院、水道など)も含めて算出します。令和4年度は、実質公債費比率、将来負担比率とも上昇しました。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字決算のため算出されませんでした。

実質公債費比率

4年度の指標：15.9%
1.1ポイント上昇

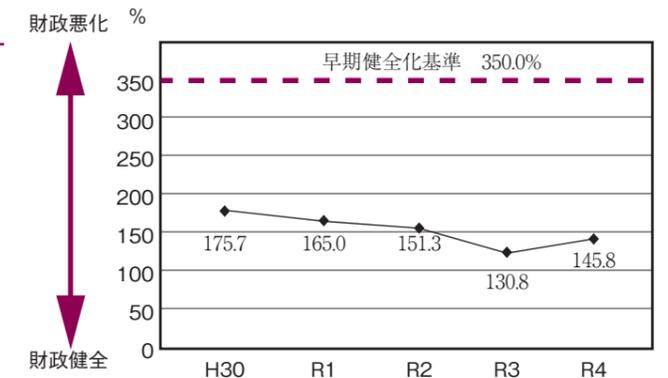
実質公債費比率とは、借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示します。この比率が高いと自由に使えるお金の割合が低く、財政構造が硬直化しているといえます。一般会計等で返済する町債(町の借金)の償還だけでなく、消防業務などの一部事務組合(雲南広域連合等)への負担金、病院・上下水道等の公営企業会計の借入金償還に対する繰出金など、全ての債務に対する返済を合計し、標準財政規模で割って算出します。



将来負担比率

4年度の指標：145.8%
15ポイント上昇

将来負担比率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)のほか、一部事務組合(雲南広域連合等)、第三セクターに対して将来支払っていく可能性のある負担等の残高の程度を指標化しています。将来的に財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。



	H30	R1	R2	R3	R4
経営健全化基準	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
病院事業特別会計	-6.6	-12.4	-8.5	-10.3	-17.8
水道事業会計	-39.9	-45.0	-39.6	-46.3	-56.7
公共下水道事業特別会計	-2.9	-0.8	-0.2	-0.5	-0.8
農業集落排水事業特別会計	-2.8	-0.8	-0.3	-0.4	-0.8
合併処理浄化槽事業特別会計	-4.8	-0.9	-0.9	-0.5	-1.1
仁多発電事業特別会計	-1.9	0.0	-1.6	0.0	0.0
農業用小水力発電事業特別会計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

病院事業、水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業、仁多発電事業、農業用小水力発電事業の7つの特別会計等がこの比率の対象となりますが、いずれの会計でも資金不足は発生していません。比率は会計ごとに算出し、比率が低いほど財政状況が健全であることを表しています。

資金不足比率 公営企業の経営状態

公営企業は必要な費用を自身の料金収入によって賄わなければならないので(独立採算の原則)、公営企業会計の赤字や借金が大きくなると、一般会計に大きな影響を及ぼさないよう、個々の収支(企業の経営状況)を資金不足比率によりチェックしています。

川本健二教育長 就任



9月の議会定例会においてご同意をいただき、10月1日付で奥出雲町教育長に就任しました。近年、奥出雲町では、子どもの急激な出生数の減少による小学校再編など、教育の見直しが必要となつていきます。このような中、後世に残る歴史的な事業である学校再編を最優先に考えています。令和7年度に横田地域、令和8年度には仁多地域がそれぞれ1校になります。これまで培われた各小学校での伝統を大切にしながら、児童がより大きな集団で学校生活を送ることのできる環境を整え、奥出雲らしい教育を推進できる取り組みを目指します。さらに、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入も、今後検討する時期でもあります。また、地域社会においては、公民館を拠点とした地域づくりや心安らぐ豊かな文化・スポーツの振興などの諸活動に取り組めます。町民の皆さんが奥出雲町に愛着を持ち、誇りを持つことが出来る人づくりを教育の柱に進めてまいり、格別のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

松田武彦教育長 退任



令和2年10月に教育長に就任され、教育振興にご尽力いただきました。松田武彦教育長が9月30日の任期満了をもって、退任されました。教育長は、就任後、国が推進しているギガスクール構想を学校現場に取り入れ、児童生徒へのタブレット導入を図り、最新の教育環境を整えられたほか、これに関連する教材の整備、教職員への研修指導を率先して行われ、短期間で学校に定着させ、教育の質の向上を図られました。また、幼稚園と小学校との連携強化を図り、スムーズな学びができる学習環境の基礎も確立されたほか、小学校再編に精力的に取り組まれ、仁多・横田それぞれの地域で新たな学校づくりが進んでいます。松田教育長は、「学校再編について、色々な課題がありました。各校に同意をいただきましたが、各校区に同意を歩み始めました。このことについて、町民全ての方にお礼を申し上げます。これから一人の町民として、学校現場が抱える課題について、色々な形で関わっていききたいと思っております。」と話されました。

100歳をお祝い 祝詞、記念品を 贈呈

今年度100歳を迎える方のご長寿を祝い、内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、あわせて町からのお祝い品をお贈りしました。本町の9月1日現在での100歳以上の方は29名で、最高齢は103歳の方です。

【今年度100歳に なられる方】 11名

- 村尾 悺江さん(布勢)
- 千原 スミエさん(布勢)
- 小山 正子さん(阿井)
- 菱本 千代子さん(阿井)
- 稲田 文江さん(三沢)
- 大塚 英子さん(横田)
- 福田 重人さん(横田)
- 藤原 晴子さん(横田)
- 丸山 明代さん(横田)
- 古澤 幸久さん(八川)
- 渡部 幸吉さん(八川)

奥出雲町戦没者追悼式

令和5年度戦没者追悼式が9月9日に、横田コミュニティセンターで行われました。今回は、4年ぶりに人数の制限がなく、約130名が参加しました。仁多郡遺族連合会を代表して小田川能也さんが、(三成)が「戦後、父親のいない寂しさに耐え続けた幼い気持ちと一生懸命に働く母親の姿を今でも忘れることは出来ません。当たり前のように、何一つ不自由なく暮らしている今の繁栄を、犠牲となられた戦死者の皆さまに改めて感謝を申し上げ、微力ながら恒久平和に努力する事をお誓いします。」と追悼の言葉を述べられました。終戦から78年の歳月が経ちましたが、今なお世界を見渡すと戦争による犠牲者が後を絶ちません。このような世界情勢の中、命や平和の尊さを次の世代に受け継いでいくことを誓いました。

戦没者追悼式後には、仁多郡遺族連合会の総会が行われ、令和5年から8年までの役員紹介や郡会長表彰があり、長表彰に、は、役員を20年間務められた高橋晴美さんが受賞されました。



令和5年度戦没者追悼式が9月9日に、横田コミュニティセンターで行われました。今回は、4年ぶりに人数の制限がなく、約130名が参加しました。仁多郡遺族連合会を代表して小田川能也さんが、(三成)が「戦後、父親のいない寂しさに耐え続けた幼い気持ちと一生懸命に働く母親の姿を今でも忘れることは出来ません。当たり前のように、何一つ不自由なく暮らしている今の繁栄を、犠牲となられた戦死者の皆さまに改めて感謝を申し上げ、微力ながら恒久平和に努力する事をお誓いします。」と追悼の言葉を述べられました。終戦から78年の歳月が経ちましたが、今なお世界を見渡すと戦争による犠牲者が後を絶ちません。このような世界情勢の中、命や平和の尊さを次の世代に受け継いでいくことを誓いました。